

第2次三田市スポーツ推進基本計画 リーディングプロジェクト・成果指標シート(H30～R4年度)

<資料1>

具体的な施策	具体的な施策の内容	令和4年度の取り組み等	成果指標	担当課	R3	R4	目標(R4)	備考
【基本方針1】 三田らしいスポーツの推進								
総合マイレージを活用したスポーツの推進 ＜リーディングプロジェクト＞	健康上の問題がない状態で日常生活を送り続けることができる「健康寿命」の延伸につなげるため、市の総合マイレージ制度を導入する。 ・スポーツイベントやスポーツ教室をはじめ、健康診断や健康講座などの健康づくりにつながる取組に参加することで、参加者にポイントが蓄積してもらう。 ・貯まったポイントは市の総合マイレージ制度で活用できる仕組みとし、健康づくりへの意欲を高める。	【文化スポーツ課】 マイレージ制度の転換により各イベントがポイント対象とはならなかったが、健康づくりへの意欲向上に努めた。 【健康増進課】 マイレージ制度の転換に合わせ、今後のマイレージの活用についても検討していく。 ※R2年度よりマイレージの制度の転換により、成果指標変更の必要あり。イベントの参加がポイント対象とならないため。	マイレージのポイント付加対象となるスポーツや健康づくりにつながるイベント、教室数	文化スポーツ課 健康増進課	【文化スポーツ課】 3件 【健康増進課】 3件 ※マイレージ事業としての実施はなし。健康づくりにつながる教室の実施のみ。	【文化スポーツ課】 4件 【健康増進課】 5件 ※マイレージ事業としての実施はなし。健康づくりにつながる教室・イベントの実施のみ。	12件	【文化スポーツ課】 4件→さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデー、ノルディック・ウォーキングフェスタ、障害者スポーツスクール、マスターズマラソン 【健康増進課】 5件→市政出前講座、健康運動教室、健康料理教室、いい歯の日フェア、こころの健康づくり講演会を実施。
		日常から運動やスポーツする機会が図られるよう、健康意識の意欲の向上を図った。	週1回以上運動・スポーツをしている人の割合（市民アンケート）	文化スポーツ課	52.1%	46.4%	65%	R4の数値は、参考数値であり例年実施している市民意識調査の数値。調査数や回答数に違いあり。目標値は、計画策定において実施したアンケート調査の推計値。
		ノルディック・ウォーキングフェスタにおいて体を動かす機会づくりにあわせノルディック・ウォーキングの普及啓発に取り組んだ。 ○4/3ノルディック・ウォーキング体験会 武庫川ウォーキングコースを活用して実施。80人参加 ○10/22県立有馬富士公園特設コースにて実施。 健脚コースとファミリーコースを設定し実施。 健脚コース⇒参加者83人 ファミリーコース⇒参加者78人	ノルディック・ウォーキングイベントへの参加者数	文化スポーツ課	83人※1	241人	1,100人	※1 新型コロナウイルス感染症の影響によりワールドマスターズゲームズ2021関西オープン競技ハサル大会は、規模を縮小し実施。（10/31実施）

具体的な施策	具体的な施策の内容	令和4年度の取り組み等	成果指標	担当課	R3	R4	目標 (R4)	備考
--------	-----------	-------------	------	-----	----	----	------------	----

【基本方針2】 スポーツで「子どもに夢を！」

アスリートと 触れ合う機会 の創出<リー ディングプロ ジェクト>	元オリンピック・パラリンピック 出場選手など、現役のプロ選手や 第一線で活躍していたトップアス リートなどをスポーツアドバイザー として招待し、子どもたちに 直接指導したり体験を伝える機会 を創出する。 ・第一線で活躍する選手の話を開 く機会を持つことで、子どもたち に夢を与え、スポーツに取り組む 意欲の向上を図る。 ・プロ選手等のスポーツアドバイ ザーから直接指導を受けること で、子どもたちのスポーツ技術の 向上を図り、将来のアスリート育 成につなげる。	新型コロナウイルス感染症の影響により、事 業など実施できなかった。	スポーツアドバイ ザーによる講習会な どの指導回数	文化スポーツ課	0回	0回	5回	
		【文化スポーツ課】 スポーツクラブやスポーツ協会など子どもが 参加しやすいような仕組みづくりなど（ス ポーツ教室や各クラブでの体験会など）行っ てもらい、運動やスポーツをする機会を提供 し、より身近に感じ好きになれるように努め た。 【教育研修所】 ニーズや必要性に応じ、三田っ子元気アップ サポーターに触れ合う機会を多く作り、児 童・生徒のスポーツに対する興味や関心、愛 好度を高めた。	「運動・スポーツを することが好き」と 答える子どもの割合 （児童生徒体力・運 動能力調査）	文化スポーツ課 教育研修所	<小5> 89%	<小5> 90%	<小5> 93%	【文化スポーツ課】 教室の種目→テニス、バレーボール、剣 道、少林寺、体操 【教育研修所】 令和2年度は全国体力・運動能力、運動 習慣等調査は新型コロナウイルス感染症 対策の影響により実施なし。同調査の結 果をもとに、各小中学校毎に結果の分析 を行い、市全体としても経年を分析する 等、課題解決のための方策を検討してい く。 ※三田っ子元気アップサポーター →生徒の運動やスポーツに対する愛好度 や、体力・運動能力を向上させるため、 専門性に優れたサポーターを派遣し、学 校教育活動における体育・スポーツ活動 を充実させ、運動への興味・関心を高め るとともに、体を動かす楽しさや心地よ さを実感させ、運動習慣の定着を図る。
		「市民スポーツ教 室」への子どもの参 加者数	文化スポーツ課	42人	154人	130人		

具体的な施策	具体的な施策の内容	令和4年度の取り組み等	成果指標	担当課	R3	R4	目標 (R4)	備考
--------	-----------	-------------	------	-----	----	----	------------	----

【基本方針3】 スポーツで「高齢者に生きがいを！」

ノルディック・ウォーキングやニュースポーツなど、高齢者が気軽に取り組めるカリキュラムでのスポーツスクールを開催し、健康寿命の延伸を図る。	子どもや若い世代との交流及び高齢者の運動・スポーツの機会充実を目的としたスポーツスクールを開催。 ・高齢者と幼稚園、保育園（所）、学校等の地域の子どもたちが交流しながらスポーツに取り組める機会を増やし、コミュニティの醸成と生きがいの創出を図る。 ・ノルディック・ウォーキングやニュースポーツなど、高齢者が気軽に取り組めるカリキュラムでのスポーツスクールを開催し、健康寿命の延伸を図る。	参加しやすい機会等を検討し、より多くの方に参加してもらえるよう努めた。令和5年3月7日・9日の2日間実施。両日あわせて47人参加。親和学園駒ヶ谷運動公園にて、ノルディック・ウォーキングを実施。	高齢者向けスポーツスクールの参加者数	文化スポーツ課	一人※1	47人	200人	※1 新型コロナウイルス感染症の影響によるまん延防止措置により中止
		高齢者向けのスポーツスクールをはじめ、スポーツを行う機会の充実を図った。	高齢者（60歳以上）の週1回以上スポーツを実施している人の率（市民アンケート）	文化スポーツ課	<60歳代> 60.2% <70歳以上> 61.1%	<60歳代> 52.3% <70歳以上> 62.4%	<60歳代> 70% <70歳以上> 65%	※R4の数値は、参考数値であり例年実施している市民意識調査の数値。調査数や回答数に違いあり。目標値は、計画策定において実施したアンケート調査の推計値。
		健康や体力に不安のない高齢者（60歳以上）（市民アンケート）	文化スポーツ課 健康増進課	体力<60歳代> 70.5% 同<70歳代> 57.2% 健康<60歳代> 78.8% 同<70歳代> 64.4%	体力<60歳代> -% 同<70歳代> -% 健康<60歳代> -% 同<70歳代> -%	体力<60歳代> 75% 同<70歳代> 70% 健康<60歳代> 92% 同<70歳代> 72%	※計画策定において実施した数値目標であり、R4において調査は行っていない。また、市民意識調査でも、調査項目にないため数値化なし。	

具体的な施策	具体的な施策の内容	令和4年度の取り組み等	成果指標	担当課	R3	R4	目標 (R4)	備考
--------	-----------	-------------	------	-----	----	----	---------	----

【基本方針4】 スポーツで「障害者に活動の機会を！」

障害者スポーツ大会や体験イベントの開催<リーディングプロジェクト>	<p>スポーツを通じ、障害のある人の生きがいがづくりにつなげるとともに、障害のある人の社会参加の推進、さらには市民の障害に対する理解向上につなげるため、障害者スポーツ大会や体験イベントを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体、障害者スポーツ団体、障害者福祉団体等と連携し、障害のある人が気軽に参加できるスポーツ大会を開催。 ・ゴールボール、ボッチャ、車椅子バスケットボール等障害者スポーツの体験イベントを行い、スポーツの楽しさや障害への理解向上を図る。 	<p>【文化スポーツ課】 障害のある人がより気軽に参加できる機会づくりに努めた。</p> <p>【障害福祉課】 障害者週間啓発イベント等を通じて、障害者スポーツを知り、体験する機会づくりに努めた。</p>	市が主催するスポーツ大会や体験イベントへの参加者延べ人数	文化スポーツ課 障害福祉課	<p>【文化スポーツ課】 405人 [障害福祉課] -人※ ※(コロナウイルスの影響で事業所に関する展示のみ開催。スポーツの周知啓発は行っていない)</p>	<p>【文化スポーツ課】 538人 [障害福祉課] -人※ ※(コロナウイルスの影響で事業所に関する展示のみ開催。スポーツの周知啓発は行っていない)</p>	1,000人	<p>【文化スポーツ課】 R3・R4は、新型コロナウイルス感染症の影響により障害者と健常者がともに行うイベントは実施できなかったが、障害者スポーツスクールは実施できた。</p> <p>【障害福祉課】 障害者週間啓発イベントにおいて、車イス体験やボッチャなど体験。(R4年度は実施していない)。</p>
		<p>【障害福祉課】 障害者週間の取り組みの成果を発揮する場としての大会を周知し、参加拡大に努める。</p>	障害者のじぎくスポーツ大会(県)の参加者数	文化スポーツ課 障害福祉課	8人	15人	24人	
		<p>【文化スポーツ課】 R4は、イベント自体は、感染症対策を講じたなか実施したが、障害者と健常者がスポーツをともにする機会は図られなかった。</p>	障害者と健常者がスポーツをともにする機会の参加率(市民アンケート)	文化スポーツ課	-%	-%	30%	※R3は、新型コロナウイルス感染症の影響により、さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデーの開催ができなかった。R4は、イベント自体は、感染症対策を講じたなか実施したが、障害者と健常者がスポーツをともにする機会は図られなかった。

【基本方針5】 スポーツで「地域コミュニティの活性化を！」

地域の指導者がスポーツ活動をサポート<リーディングプロジェクト>	<p>地域のスポーツ指導者がスポーツ活動等をサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ指導者が、小学校のクラブ活動や中学校の部活動、地区運動会、スポーツ大会の活動をサポートする。 ・地域のすべての市民が、楽しんで参加できるスポーツイベントの運営を支援する。 	<p>スポーツ協会のみならず、地域のスポーツクラブ等で指導等されている方も講習等を受講し、指導者資格が取得できるように関係団体が連携した取り組みが必要。</p>	地域のスポーツ活動をサポートする指導者数(日体協公認スポーツ指導員)	文化スポーツ課	731人	774人	1,000人	<p>スポーツ協会からの数値 ※各種目協会が定める公認指導者または公認審判員の数値を含む。</p>
		<p>【文化スポーツ課】 ・施設利用向上のため、担当課や指定管理者と連携した。</p> <p>【公園みどり課】 ・指定管理者とも連携を図り、施設利用の向上に努めた。</p>	駒ヶ谷運動公園、城山公園の施設利用申込件数	文化スポーツ課 公園みどり課	34,980件	39,900件	60,000件	<p>【公園みどり課】 駒ヶ谷運動公園→241,399人 城山公園→143,928人</p>
		<p>スポーツクラブ21とも相互連携支援を行い、住んでいる地域でいつでも気軽にスポーツに親しむ機会をより向上させ、スポーツクラブ21への会員増強を図った。</p>	市の人口に対するスポーツクラブ21会員数の割合	文化スポーツ課	11.3%	11.1%	14.0%	<p><スポーツクラブ会員数> R4末 11,994人 (R3末12,370人) <市全体人口数> R4末107,744人 (109,072(R3末))</p>